

# ホタテ貝の高い消臭・抗菌効果で 消費者の悩みを解消する「洗濯槽快」。

## 洗濯槽からクロカビがなくなる 洗濯物の生乾き臭もなくなる

名づけて「洗濯槽快」。小さなパックを洗濯ネットに入れるだけ。あとは普通に洗濯をすれば効果テキメン。実際のユーザーから寄せられた声をご紹介します。「洗濯槽に付着していたクロカビがなくなった。洗濯槽がいっつも清潔」「洗濯物の生乾き臭がなくなった。部屋干ししても臭くならない」「配水管のヌメリがすっきり取れた」。



ホタテ貝から生まれた、洗濯物の除菌・消臭と洗濯槽のカビを防止する「洗濯槽快」

洗濯槽のクロカビを気にしてきた消費者にとってまさに福音。洗浄が不要になるうえ、洗剤の使用量も2割ほど少なくて済むという。洗濯物に白癬菌や大腸菌が繁殖するのを防ぐ効果もあり、先に発売されている洗濯槽クリーナーにはないこの効能も人気の秘密だ。大手量販店やホームセンター、ドラッグストアなどがこぞつて扱い、全国紙の地域ニュースをはじめ、各種メディアで紹介された回数は数え切れない。



ホタテ貝の殻を高温で焼成した酸化カルシウム

開発したのはテイクファクトの竹中利和社長。もともとクリーニング業界向けの機械商社に勤めていたが、京滋で培ったネットワークを生かし、2000年にテイクネットという会社を兵庫県尼崎市に設立した。ほどなく、微生物による消臭剤などのバイオ商品販売を手掛け始めるが、行き詰まってしまった。そんなとき、「北海道や青森でホタテ貝の殻が大量に貯まっているため、農地にまく土壌改良剤以外で使用できないだろうか」という相談が持ち込まれた。「多少はバイオ関連の情報を収集していた私は、ホタテ貝の殻から得られる焼成カルシウムが優れた除菌・消臭効果を持つことを知っていた。有効活用法を見つけて循環型社会実現にひと役買えれば、とっさにそう考えた」。

一押し商品誕生の瞬間だ。

## 機能を高めるため試行錯誤 消費者相手に奮闘を重ねる

ホタテ貝の殻の主成分は炭酸カルシウム。高温で焼成すると酸化カルシウムになる。活性炭状の多孔質構造を持つセラミックの一種だ。牡蠣の殻など他の天然素材から得

られた焼成カルシウムよりも高い除菌・消臭効果を持つことが大学などの研究で知られている。「除菌・消臭のメカニズムはまだ完全に解明されていないが、垢に含まれる炭水化物や脂肪分、洗剤カスがカビの栄養源になり、それを消滅させればカビの繁殖も防げるのだらう」と推論される。

ところが当初持ち込まれた貝殻の粉末は土壌改良剤用として300℃程度で焼成されたもの。「より高温で焼くとどうなるか?」と探求心を発揮した竹中社長。温度を変えて焼いては効果を検証する試みを繰り返した。その結果、低温(1000℃以下)で焼くのがベストだと判明。02年末に会心の新商品「洗濯槽快」が産声をあげた。「もちろん焼成時間の加減も重要。洗濯槽快が誇る除菌・消臭効果は絶妙な焼成温度と時間のバランスから生まれるもので、ここに製法上の秘訣がある」。

興味深いのは、馴染みのあるクリーニング業界向けを狙わず一般家庭用に絞って商品化したことだ。「業界には精通し過ぎて、さまざまな事情を知っている。真っ白な気持ちでエンドユーザーと向きあい、お役に立ちたかった」という心情が背景にある。価格ははいやしい1個470円(税別)に設定した。とはいえ販売チャネルに目途があったわけでもなく、石川県や岡山県の親しいクリーニング店で店頭販売してもらった。結局、当初の月

間販売数は568個だけ。「スタートダッシュとはいかなかった。エンドユーザー向けのビジネスが初体験だったからだろうか」。

転機は半年後にやってきた。有名な雑貨チェーンが興味を持ち、まずは三宮店で竹中社長自らが実演販売することになった。売れ行きは上々だった。洗濯排水を除菌する環境配慮商品であること、天然素材であり循環型社会にもかなうことが評価されたのだ。1日に100個売れる日もあり、取り扱っている店舗はすぐに増加。新聞などにも度々取り上げられるようになると、取り扱いたいと申し出る量販店やドラッグストアが次々と現れた。

## 新市場を意識した新消臭剤 血液の汚れを落とす新洗剤も

発売直後の4年間で販売数量が50万個だったのに、いまでは1年間で50万個以上売れるようになった。「販促に力を入れなくても売れ行きは衰えない。しかもこれだけ売れているのに、クレームは他の原因(洗剤と柔軟剤)でたった3件。販売側にとってこうまで手が掛からない商品はそうはない。売れ出すとおのずと有利な棚に陳列してもらえ、ことさらに売れる。この連鎖のおかげでヒット商品の座を守り続けている」。

10年にはテイクネット商品の製造拠点として、近江八幡市にテイクファクトを設立。



病院や介護福祉施設などに開発された消臭剤、「パティミスト」シリーズ

「自然にやさしく」を合言葉に、安全で安心な商品の研究・開発に努めている。現在、竹中社長は病院や介護福祉施設などを対象とした新商品「パティミスト」シリーズの販路開拓にも力を注いでいる。これもホタテ貝の焼成カルシウムによる消臭剤で、加齢臭の原因になる低級脂肪酸などを強力に分解する。福祉施設などの快適環境づくりに貢献したいと意気込む。さらに血液の汚れをすっきり落とす新洗剤も開発中だ。すでに大手通販会社で取り扱われ始めた。「既存の芳香剤や漂白剤と違い、私たちの商品は臭いや汚れを根源から絶つ高機能が特長」と竹中社長。今後の展開次第ではヒット商品としてランクしそうな商品群だ。「環境熱心県の滋賀で環境商品を手掛けられるのは光栄なこと。今後は雇用面も含めて地元との共存共栄を図っていきたい」と話す。

株式会社テイクファクト ..... 代表取締役 竹中利和氏

- 本社/近江八幡市船木町1122
- 従業員数/17名
- 設立/2010年
- 事業内容/貝殻焼成カルシウムによる洗浄・浄化・抗菌・脱臭商品の研究開発・企画・製造など
- 代表取締役 竹中利和
- URL/http://www.takenet-eco.co.jp/
- 資本金/1,000万円

